

# 兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 臨時 号)

2021年12月 9日発行  
兵庫のり研究所

この海域において大型珪藻コシノディスカスが発生していましたが、前回(12/3)調査よりさらに減少していました。そのため、窒素は西浦海域で概ね3  $\mu\text{g-at/L}$ 前後、南浦海域で3  $\mu\text{g-at/L}$ 台、東浦海域で概ね4  $\mu\text{g-at/L}$ 台の値と、各海域で前回よりも上昇しています。

**(珪藻)**

各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は以下の通り。

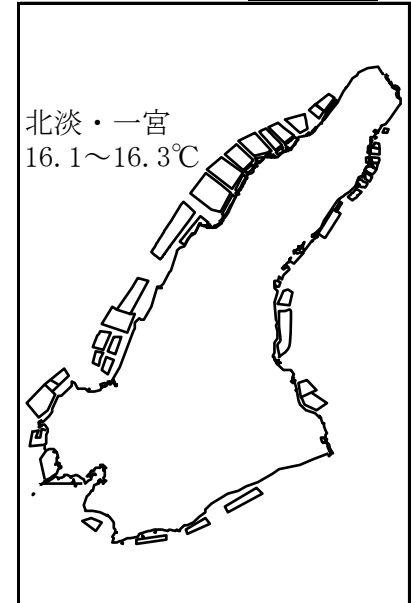
東浦：0~25細胞(前回値：100~150細胞)

西浦：5~20細胞(前回値：20~100細胞)

南浦：15~30細胞前後(前回値：100~300細胞程度)

東浦海域ではギナルディアが、西浦海域ではキートセロスが散見(1mlあたり10細胞以下)された。

**水温図**



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.9	4.4	6.1	4.0
	リン	0.50	0.52	0.60	0.52
西浦地先	窒素	2.6	3.0	5.5	3.3
	リン	0.63	0.58	0.62	0.57
南浦地先	窒素	1.6	3.1	5.3	2.4
	リン	0.47	0.54	0.59	0.43

(12/3)

(12/11)

**栄養塩(窒素) 図**

2021年12月 9日調査

